

適用範囲		モデル名		D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0	
		仕様		2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	
		適用号機		90001	90001	70001	70001	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	
		弁すき間 吸気弁 すき間 排気弁 すき間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm N kg	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	[]
	動力伝達装置	主クラッチペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8
主クラッチ・トランスミッション		ブースタ油圧	KPa kg/cm ²	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	
		ダイレクトシフト型	KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	981 10	981 10	981 10	981 10	
			KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)					
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35		
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	

[illegible]

モデル名

D20A-8E0

D20P-8E0

D20PL-8E0

D20PLL-8E0

D21A-8E0

①

■ 点 検

警 告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

M印

15～20mm

点検姿勢

②

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まつすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

20～30mm

③

オイル封入履帯

シングル履帯

湿地シュー

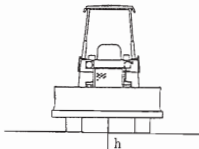
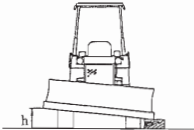
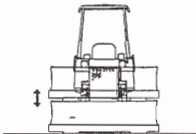
③

乾式履帯

シングル履帯

No.	項 目	判 定 基 準
1	リンクピッチ	基本寸法 135.25 許容限度 138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締め角: 90±10°
14	マスタボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締め角:180±10°

No.	項 目	判 定 基 準
1	リンクピッチ	基本寸法 135.25 許容限度 —
15	シューボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8 Nm (7±1kgm). 増締め角:90±10°

D21P-8E0		D21PL-8E0							
項 目		測 定 条 件		単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値		
					D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7	
④	ブ レ ード	 ★ブレード地上から 300mm		mm	100		100		
	ブ レードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばい上げる。 ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。			50		50		
⑤	ブ レ ード (PAT 車)	リフト		上 げ	1.8		1.8		
	・接 地 ◇ 上 昇 順			秒					